



ユネスコ世界寺子屋運動リーフレット制作プロジェクト 世界遺産から世界寺子屋運動へ

ユネスコとは

ユネスコ（UNESCO）は、United Nations Educational, Scientific and Cultural Organizationの頭文字を集めた略称で、日本語では、国際連合教育科学文化機関といい、本部はパリにあります。ユネスコは、第二次世界大戦が終わった1945年に、人類が二度と戦争の惨禍を繰り返さないようにとの願いを込めて、各国政府が加盟する国際連合の専門機関として創設されました。

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」（日本ユネスコ協会連盟ホームページより）

世界遺産とは

—— 国境と世代を超えた共通の宝物 ——

「世界中のあらゆる地域には、国や民族が誇る文化財や自然環境があります。世界遺産とは、現代を生きる世界のすべての人びとが共有し、未来の世代に引き継いでいくべき人類共通の宝物のことです。そこには、国境という概念はありません。自国の文化と歴史を愛することは、他国の文化と歴史を理解し、尊重することへとつながっているからです。」（日本ユネスコ協会連盟ホームページより）

世界寺子屋運動とは

世界には、働かなければならなかったり学校が近くなかったりして、学校に行けない子どもが、1億1300万人もいます。そして学校に行けず大人になり、文字の読み書きができない人が8億6000万人もいます。世界寺子屋運動は、このような子どもたちや大人が「学びの場=寺子屋」で読み書きや算数を学べるように、教育のチャンスを支援する運動です。（日本ユネスコ協会連盟ホームページより）

以上のことをしっかり学習する

(1) 自分達の町が世界遺産に！

- ・ 昨年7月、高野山は「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録
- ・ 地域学習に取り組んできていた
- ・ マルチメディア祭にも参加

(2) D-project で取り組める！

- ・ いろんな面でサポートを受けられる（ユネスコ・Adobe・D-pro）
- ・ 参加校との交流ができる（テレビ会議もできる）
- ・ 昨年の実践がある
- ・ 総合的な学習への位置づけ



(3) 子ども達に学びを！

- ・ 世界遺産に詳しくなること
- ・ 自分達の町に誇りを持つこと
- ・ 自分達にできることをグローバルな視点で考える機会になること
- ・ ボランティア活動を体験できること
- ・ 交流校と協力しながら学習する楽しさを体験できること
- ・ リーフレット作りを通してデジタル表現に関心を持つこと

